

## 心のこもった手紙を

4月20日(水)  
郵政記念日に一日郵便局長

菊池郵便局で72回目の郵政記念日の式典があり、村川尚子さん(菊池市)が一日郵便局長として訪れたお客さんに菊池特産のヤーコンを使ったお茶のサービスや花の苗のプレゼントをしました。

菊池市内で全国の福祉施設やお年寄りに絵手紙を届ける「絵手紙ボランティアグループ」を主宰する村川さんは「手紙は人を励ましてくれる大きな力を持っているし、手紙は生きています。印刷が多くなった年賀状にも一言、手書きの文章を添えたいものですね」と話されました。



郵便局を訪れたお客さんに花の苗をプレゼントする村川さん(右)

## ゴルフでふれあい、そしてチャリティ

5月10日(火)  
ゴルフ大会の益金をつまごめ荘に寄付

「第19回まちおこしチャリティ菊池ゴルフ大会」が、5月5日(こどもの日)に菊池カントリークラブでありました。

その益金は、5月10日(火)に菊池市ゴルフ協会の岩永誠さんから、特別養護老人ホームつまごめ荘に寄付されました。

まちおこしチャリティゴルフ大会は、旧菊池市のゴルフ愛好者を対象に、毎年この時期に開催されていましたが、今年は新「菊池市」誕生により、旧3町村の区域までエリアを拡大して開催されました。



松岡施設長(右)に益金を手渡す岩永さん(左)

## 新しい花見スポットに

4月23日(土)  
菊池市ふれあい交流センター周囲に植樹



木楽良館の施設周辺にツツジを植える参加者たち

菊池市ふれあい交流センター(愛称:木楽良館)で、(株)NTTドコモ九州が、(財)熊本県緑化推進委員会とタイアップして植樹会をし、(株)NTTドコモ九州職員などが参加しました。

参加者は、県道菊池鹿北線から良く見える高台にある施設の周囲、約150mにわたって桜やツツジを植栽しました。

参加者は「この花が来春には見事な花をつけて、この場所が最高の花見スポットとなればいいですね」と汗を拭きながら話されました。

## スポーツの振興

5月11日(水)  
菊池市体育指導委員委嘱状交付式



木下教育長(右)から委嘱状の交付を受ける藤江さん(左)

菊池市福祉会館で委嘱状の交付式があり、旧市町村で活躍していた委員や新委員など約70人が出席しました。

式では、代表して藤江康博さん(北宮)に木下教育長が委嘱状を交付しました。

藤江さんは「最初はスムーズにいかないと思いますが、新メンバーが仲良くしてスポーツの楽しさを伝えていきたい」と抱負を話されました。

菊池市体育指導委員の定数は52人で、今後、住民のスポーツ振興のために実技の指導をしたり、組織の育成を図るなどの職務を行います。

## 永年の功績

4月14日(木) 行政相談員に感謝状

永年、行政相談員を務めた松永伸男さん(妻越)と角田一信さん(井戸方)に、感謝状が贈られました。

松永さんは、昭和63年8月から平成17年3月までの16年7カ月務められ「それぞれの地域にあわせて色々な問題を解決してきました。すばらしい経験をしたと思っています。今後は、老後の生活にこの経験を生かしていきたいです」と話されました。

角田さんは、平成12年7月から平成17年3月までの4年9カ月務められ「自分の勉強になりました。この制度をもっとたくさんの人に知ってもらいたいです。今後は一市民として、できることがあればお手伝いをしていこうと考えています」と話されました。

行政相談員は総務省が任命し、「行政」と「住民」とをつなぐ相談役、パイプ役として活躍されています。



感謝状を受け取った松永さん(左から2番目)と角田さん(左から3番目)

## 九州の溪谷

4月15日(金) 菊池溪谷山開き

菊池溪谷展望所前で山開きがあり、関係者など約150人が出席してシーズン中の安全を祈願しました。

菊池溪谷を美しくする保護管理協議会副会長の岩永一さんが「菊池溪谷は九州の溪谷だと思っています。これからもこの自然を守っていきたくたいです」とあいさつ。玉串奉奠などの神事が行われ、石井職務執行者や北田議長などがテープカットしました。

また、ヴァイオリンと二胡の演奏などもあり、溪谷を訪れた人たちはミニコンサートを楽しみ、早速溪谷内の散策に出発していました。

平成16年の入谷者は、台風の影響で前の年よりも2万人少ない28万人でした。今年は30万人の入谷者を見込んでいます。



シーズン中の安全を祈願して菊池溪谷展望所前で行われた神事

## いのちと食(飢え)

4月17日(日) 2005年養生園祭

公立菊池養生園診療所で養生園祭があり、家族連れやお年寄りなどたくさんの方で賑わいました。

24回目となる今回は「いのちと食(飢え)」をテーマに行われ、講演会や無農薬野菜や農産加工品の販売などをする養生市、健康展などがありました。

絶食・少食療法の第一人者で日本総合医学会会長の甲田光雄さんが「私が肝臓を患ったとき、断食療法を試したら元気になり、この療法には現代医学では解決できないものがあると確信しました。断食マニアと呼ばれるくらい何回も断食してきましたが、する度に体の調子が良くなります」などと断食のすばらしさを講演すると、熱心に聞く人やメモを取る人もいました。

この祭りは、毎年この時期に行われています。

断食のすばらしさを、自分の体験をもとに講演する甲田光雄さん

